

# 2022年度 ラクロス男子21歳以下日本代表 活動報告会

2022年9月27日

# 本日のコンテンツ

1. 年代別男子日本代表活動について
2. チームビルディング
3. U21世界大会 全試合解説
4. U21世界大会を通じて
5. 総括
6. 質問コーナー (YouTubeコメント欄へ！)

# 本日の出席者

## ▼STAFF



GM 永田久美子



HC 鈴木直文



AC 徳舛宗哉 G



AC 奥村祐哉 OF



AC 佐野清 DF

## Captains ▶



1 伊藤 G

17 黒田 MF

13 箱崎 AT

8 袖山 DF

まずはじめに・・・

# 1. 年代別男子日本代表活動について



日本代表とは、何か？

**ラクロス日本代表は  
特別なチームだけを指すのではなく、  
日本のラクロスそのものである。**

# 何のために世界大会へいくのか

日本のラクロスのスキル・組織・カルチャーを世界に相對させることで国力として測り、課題と機会を整理することで、今後の日本ラクロスのあるべき姿と方向性を見直す。

若い世代から国際大会を経験をしてもらうことで、広い視野を持つラクロスメンバーを輩出する。

日本のラクロスを世界に対し発信することで、世界のラクロスの発展に資する。

# U19-21 年代別代表 活動概要

## ▼当初の予定 (大会前の半年のみ活動)

年	2019年	2020年						
月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
活動内容	選考会	選考会	練習会	練習会	練習会	練習会	練習会	U19大会
最高学年	試合経験の少ない1年生				リーグ前の2年生			

- ・活動頻度は月2週末
- ・約半年の練習で「ラクロスほぼ初心者」を、世界大会に連れていく、はずが...

## ▼コロナ影響を受け...

活動半ば (3か月半) で終了

年	2019年	2020年							
月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8-12月
活動内容	選考会	選考会	練習会	練習会	コロナで活動停止				国内リーグ期間
最高学年	試合経験の少ない1年生								

- ・新3回中心に4~7月インプット
- ・練習できたりできなかったり
- ・8~12月は「宿題」を課す

年	2021年							
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8-12月
活動内容	コロナで活動停止			選考会	選考会	選考会	練習会	国内リーグ期間
最高学年	特別大会を終えた2年生			特別大会を経験した3年生				

- ・3か年の最終年
- ・各大学主力選手を(4年生の)リーグ前に世界大会に連れていく
- ・メンバー入れ替わりながら8か月間活動

年	2022年							
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
活動内容	選考会	練習会	練習会	練習会	練習会	練習会	練習会	U21大会出場
最高学年	最後のリーグを控える4年生							

オミクロン大流行、人数揃わず四苦八苦しました

# 過去の世界大会の戦績

## ▼過去の日本の戦績 (※U19大会)

1996年	5位
1999年	6位
2003年	6位
2008年	7位
2012年	不参加
2016年	不参加

## ▼2016年順位

1. United States
2. Canada
3. Iroquois (Haudenosaunee)
4. Australia
5. England
6. Israel
7. Ireland
8. Germany



# スタッフ体制

## ▼世界大会派遣 スタッフリスト

<GM> 永田久美子

<HC> 鈴木直文

<AC> 徳舛宗哉

<AC> 奥村祐哉

<AC> 佐野清

<MG> 瀬田秀敏

<TR> 佐々木貴也

<TR> 笠間寛史

<通訳> 阿久津直子

## ▼広報部 派遣スタッフ

<カメラマン> 瀧沼里彩子

## ▼国内活動サポートスタッフ

<MG> 新井桃子

## ▼国内活動有志スタッフ

<広報>

瀧沼里彩子

山本萌楓 (法政)

<練習動画撮影>

竹内美結 (上智)

<アナライジング>

桶谷弘貴 (立教)

松田純葵 (明治学院)

瀧上奈優 (法政)

望月秀伍 (関西学院)

菱沼遥 (立教)

吉田琴美 (立教)

# 最終メンバー

氏名	ポジション	背番号	大学
大塚周平	AT	3	青山学院大学
藤岡凜大	AT	10	慶應義塾大学
箱崎蒼太	AT	13	神奈川大学
黒田健志郎	AT/MF	17	日本体育大学
石川龍太	AT/MF	11	東京大学
山田哲也	MF	7	法政大学
小峰拓真	MF	15	明治学院
種村魁	MF	18	筑波大学
貝柄海大	MF	21	慶應義塾大学
小野紘輝	MF	28	立教大学
竹田雄介	FO	27	上智大学

関東 19名(1部8名、2部10名、3部1名)、関西4名

氏名	ポジション	背番号	大学
横川陸人	SSDM	6	東京農業大学
山本礼	SSDM	12	立命館大学
三浦和輝	SSDM	20	神戸大学
木村隆一	SSDM	5	立教大学
芳村弘俊	LSM	14	明治大学
近兼大聖	LSM	22	東京農業大学
立松侑悟	DF	4	京都大学
袖山朋弥	DF	8	東京学芸大学
中村友祐	DF	23	同志社大学
天賀龍斗	DF	25	法政大学
伊藤駿	G	1	明治大学
土屋隆貴	G	24	明星大学

ここからは...

## 2. チームビルディング

鈴木直文ヘッドコーチにバトンタッチして  
U21のチーム作りについて振り返ります！

# HC振り返り

- ▶ 何を目指したのか？
- ▶ 何を達成したのか？
- ▶ 何が“秘訣”だったのか？
- ▶ 3年間、何をしてきたのか？
- ▶ 何が足りなかったのか？

何を目指したのか？

# 目標

2022年8月、U21世界選手権（アイルランド）において、セミファイナル進出すること（4位以上）

世界標準のラクロスを体現し、世界から**尊敬**を勝ち取ること

日本ラクロスが目指すスタイルを具現化し、  
すべて日本のラクロス選手の**模範**となること

## U19/20/21 活動理念

### ***RESPECT***

- ➔ *Respect the GAME,*
- ➔ *Respect the TEAM,*
- ➔ *To earn the respect of the WORLD*

# “世界標準”のラクロスとは...

1. 2-man game (OF&DF)
2. フィジカル
  - ▶ OF: コンタクト下でのアジリティ
  - ▶ DF: フィジカルコンタクト, 運動量, 作業量
3. 北米最先端の(基礎的)戦術
  - ▶ OF: Pairs & 裏起点
  - ▶ DF: 1v1/2v2 + ニアマンスライド



何を達成したのか？

# 何を達成したのか① 試合結果&最終順位

## 〈国内強化試合〉

4/2 vsフル代表 9-8(OT) ○

5/29 vs早稲田 5-11 ●

6/12 vsフル代表 2-15 ●

7/9 vsグリズリーズ 3-14 ●

7/16 vs韓国代表 15-2 ○

7/24 vs慶應 6-7 ●

## 〈現地強化試合〉

8/6 vsオーストラリア 8-11 ●

8/7 vsイングランド 4-8 ●

## 〈本大会〉

8/12 vsイスラエル 10-3 ○

8/13 vsチェコ 12-2 ○

8/15 vsプエルトリコ 10-9 ○

8/16 vsジャマイカ 10-8 ○

8/17 vsオーストラリア 6-8 ●

8/18 vsイスラエル 8-5 ○

8/19 vsアイルランド 5-4 ○

8/20 vsイングランド 7-6(OT) ○

**最終順位 5位**

## 何を達成したのか② Respect

- ▶ 各国関係者からポジティブな声
  - “We are rooting for you, because you are so *respectful*”  
 (イスラエル代表関係者がプエルトリコ戦前に)
- ▶ ラクロスの内容も...
  - ▶ 2-man game主体の戦術
  - ▶ フィジカルコンタクトで負けない1v1DF
- ▶ 選手個人個人も...
  - ▶ Sodeyama, Takeda, Kaigara, Hakozaiki, Yamada...

## 何を達成したのか③ 日本ラクロスの模範？

- ▶ 選手個々が掴んだもの（=国内で還元してくれているもの）
  - ▶ 圧倒的な成長（スキル、IQ、メンタル）
  - ▶ 自信
  - ▶ ラクロスへの思い
- ▶ ラクロスのスタイルは...（“走り勝つ”）
  - ▶ 我慢強く (patient)、効率の高い (efficient) オフェンス
  - ▶ スプリント力を活かした Transition OF
  - ▶ 運動量と機動力を活かしたライドとGB
  - ▶ フィジカルコンタクトと運動量と作業量で守るディフェンス

何が“秘訣”だったのか？

# 何が“秘訣”だったのか① フィジカル

- ▶ フィジカル重視の選手選考（U19から）
  - ▶ 共通基準に基づく測定→強化→測定→選考
  - ▶ 求める個性に応じた個別強化基準
  - ▶ 体重と機動力のバランスを考慮した最終選考
- ▶ 連戦を戦い抜くスタミナ
  - ▶ 9日で6連戦含む8試合→怪我なしで乗り切る
- ▶ すべてのベースとしてのスプリント力
  - ▶ GB、ライド、ブレイクOF、F03v3が強味に（＝“走り勝つ”）
  - ▶ Setup OF/DFも、コンタクト＋機動力が武器
- ▶ “スキル”としてのフィジカル
  - e.g. シュート、パス、ダッチ、DF(オンボール&オフボール)

## 何が“秘訣”だったのか② メンタル

- ▶ “コミュニケーションとリーダーシップ”（U20から）
- ▶ 3月から計6回のメンタルトレーニング（徳舂AC&瀬田MG）
- ▶ 心の状態と身体的パフォーマンスの連動についての指導（長谷川智氏）→“Respect”の効果を体感
- ▶ 「最高目標」と「最低目標」の習慣化
  - ▶ 個人志向からチーム志向へ
  - ▶ 外的環境依存&結果志向から「状態」志向へ
- ▶ 立ち戻る軸としての“Respect”

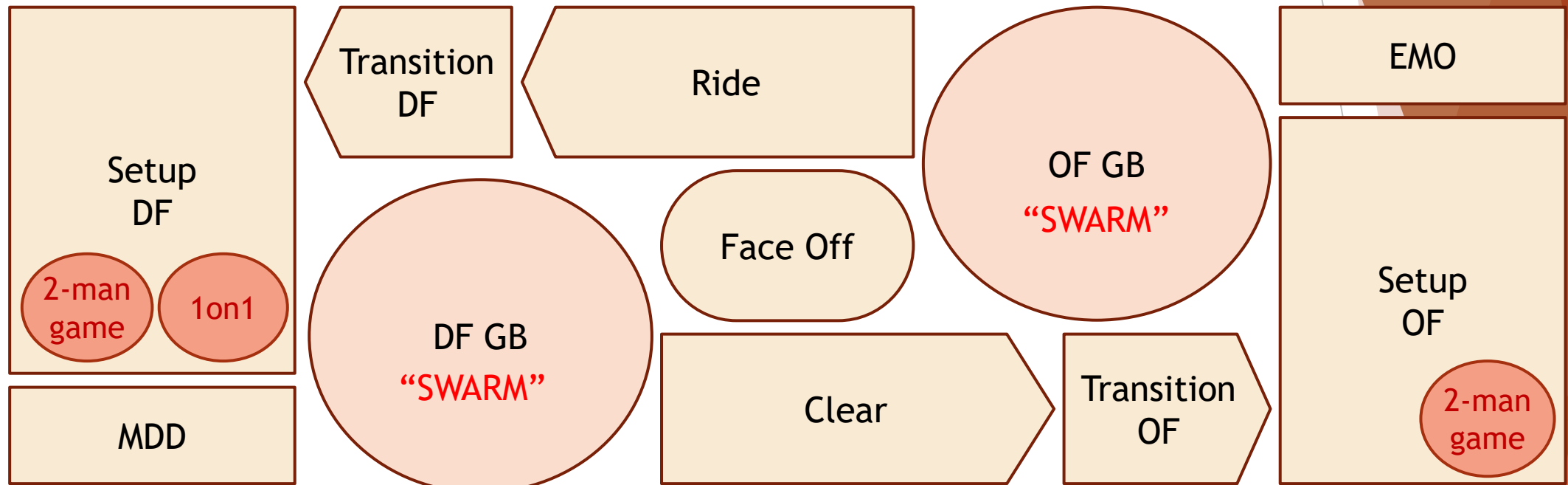
## 何が“秘訣”だったのか③ 強化方針と手順

- ▶ “世界”を見据えた選手評価（U19から一貫して）
- ▶ Fundamentalsを細分化して徹底（最初から最後まで）
- ▶ 2-man gameを徹底強化（U20から）
- ▶ 個性を活かした戦術の仕上げ（ギリギリでしたが…）



3年間、何をしてきたのか？

# U19/U20でやったこと



## FUNDAMENTALS (基礎 = 基盤)

e.g. 走る捕る投げる、TTP/DTP、シュートのバリエーション、ダッチ、DFFW、GB  
2-man game、リーダーシップ&コミュニケーション、フィジカル etc.

# U21活動計画

ターム	活動日	マイルストーン	選考	測定	Day1	Day2	主な項目
I	1/8,9	全国選考会	57→40		ゲーム形式	個人スキル	ゲームIQ/1v1/2v2
	1/22,23	キックオフMTG			Fundamentals(復習)	コアコンセプト導入	TTP/GB/C&L/フィジ
	2/5,6	フィジカル測定	40→27+3	★2/6	Transition OF/DF	Fundamentals(導入)	運動量&作業量/2MG
II	2/19,20	キャプテンズ決定			戦術フレーム導入		Set O&D/EMO&MDD
	3/5,6				Fundamentals徹底		OTB/S&R/5v3/6v4
	3/19-21	合宿orデイキャンプ			チームスピリット醸成		C&R/GB/2v2/4v4/5v5
III	4/2,3	vsフル代表(スクリメ)			個人の底上げ		1v1/2v2/FO3v3/FB
	4/16,17			★	状況別対応力		4on4/5on5/3on2 etc.
	4/29-5/1	遠征メンバー仮確定	23+4		戦術の洗練		C&R/EMO&MDD/6v6
IV	5/14,15	vs学生orクラブチーム	Mo合流		Fundamentals再徹底		GB/ミニゲ/2MG/TTP
	5,28,29				コンセプト再徹底		1v1/5on3/4v4/FB/6v6
	6/11,12	vsフル代表(壮行試合)			チームスピリット		1v1/4v4/EMO&MDD
V	6/25,26		23(確定)+4	★	チーム戦術の確定		C&R/6v6/EMO&MDD
	7/9,10	vsクラブチーム			Fundamentals再徹底		1v1/4v4/6v6/6v4
	7/23,24	vsクラブチーム			状況別対応力		TTP/GB/S&R/5v5

# U 21 活動 実績

チーム	活動日	マイルストーン	選考	測定	Day1	Day2	主な項目
I	1/8,9	全国選考会	57→40		ゲーム形式	個人スキル	ゲームIQ/1v1/2v2
	1/22,23	キックオフMTG			Fundamentals(復習)	コアコンセプト導入	TTP/GB/C&L/フィジ
	2/5,6	フィジカル測定	40→27+3	★2/6	Transition OF/DF	Fundamentals(導入)	運動量&作業量/2MG
II	2/19,20			★	戦術フレーム導入		Set O&D/EMO&MDD
	3/5,6		40→30+α	★	Fundamentals徹底		OTB/S&R/5v3/6v4
	3/19-21	デイキャンプ		★	チームスピリット醸成		C&R/GB/2v2/4v4/5v5
III	4/2,3	vsフル代表(スクリメ)		★	個人の底上げ		1v1/2v2/FO3v3/FB
	4/16,17				状況別対応力		4on4/5on5/3on2 etc.
	4/29-5/1	遠征メンバー仮確定 キャプテンズ決定	23+4		戦術の洗練		C&R/EMO&MDD/6v6/ FO3v3/Transition OD
IV	5/14,15	vs慶應(5/14)	Mo合流		Fundamentals再徹底		GB/ミニゲ/2MG/TTP
	5,28,29	vs早稲田			コンセプト再徹底		1v1/5on3/4v4/FB/6v6
	6/11,12	vsフル代表(壮行試合)		★	チームスピリット		1v1/4v4/FO3v3
V	6/25,26		23(確定)+4		チーム戦術の確定 + Fundamentals再徹底		C&R/6v6/3v2/GB/2v2
	7/9,10	vsグリズリーズ			Fundamentals再徹底		1v1/4v4/6v6/FO3v3
	7/16,17	vs韓国, ファル合同練			チーム戦術の徹底		2v2/4v4/FB&SB/6v6
	7/23,24	vs慶應			状況別対応力 + Fundamentals再徹底		FB&SB/TTP/4v4

# 現地入り後も...

- ▶ 10-man ride
- ▶ Transition OF
- ▶ Setup OFのオフボール（クリーンス周り、裏起点時）
- ▶ Long FO
- ▶ GB away
- ▶ 強いパスを投げる
- ▶ ペイント内のシュートの駆け引き
- ▶ G1v1時のシュートフェイク（+悪球捕り）

何が足りなかったのか？

# 何が足りなかったのか？

1. 4位オーストラリアに力負け→“3強”と手合わせできず
2. 経験してきたラクロスの**種類**の少なさ（オーストラリアに感じた“深み”）
3. 試合終盤の「底力」（物理的圧力を押し返す力）
4. 「残り時間」の使い方
5. 「本場」へのアクセスルート（ポテンシャルの差ではない）

つづきまして...

### 3. 世界大会 全試合解説

コーチーズ、キャプテンズと一緒に、  
全8試合を振り返ります。



# 世界大会 開催概要

大会名称：

2022 World Lacrosse Men's U21  
World Championship

大会日程：

2022年8月10日～8月20日

大会開催場所：

アイルランド、リムリック  
University of Limerick

出場資格：

2000年9月1日以降生まれ  
= 大学4年生の9月以降を中心に、  
大学2～4年生で構成



# 大会の予選プール分け

**A** United States  
Canada  
Haudenosaunee  
Australia  
England

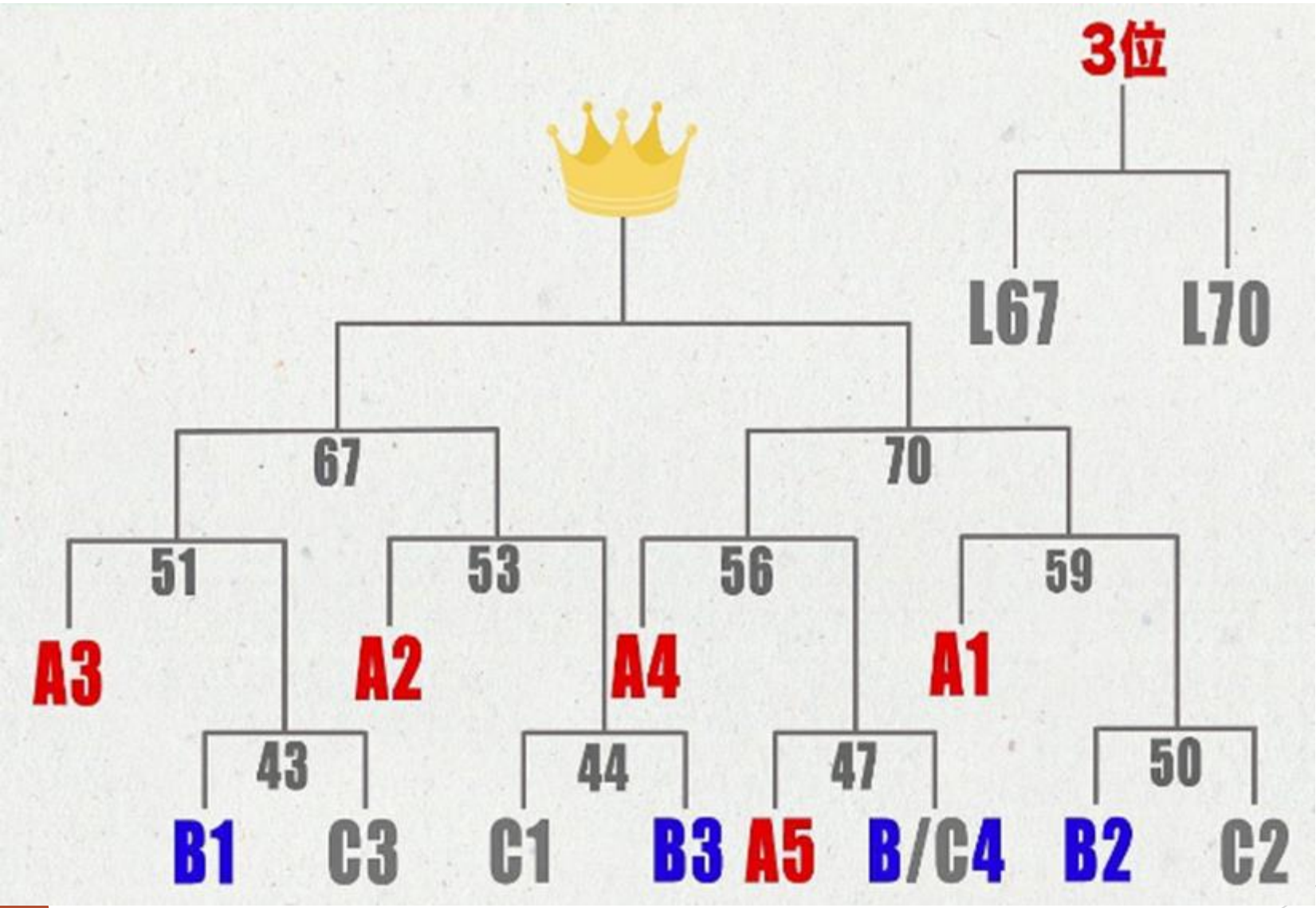
**B** Israel  
Czech Republic  
**Japan**  
Puerto Rico

**C** Germany  
Ireland  
Latvia  
Jamaica

**D** China  
Chinese Taipei  
Wales  
Kenya  
Poland

**E** HongKong  
Korea  
Netherlands  
Sweden  
Uganda

# 決勝トーナメント形式



Bプールの順位によって、  
Cプールの対戦相手が決定。

同時に準々決勝で当たる  
Aプールの対戦相手も決定。

4位以内に入るためには、  
プール首位は必達目標。

準々決勝で敗退すると  
5 - 1 2位を決める  
順位決定トーナメントへ。

# Bプール戦振り返り ①イスラエル

8月12日 Bプール 第1戦

Japan - Israel 10:3 (4:1, 0:1, 3:0, 3:1)

Q	Time	Team	Score	Team	Goal	Assist
1	3:08	JPN	1-0		11Ishikawa, Ryuta	
	4:47	JPN	2-0		18Tanemura, Kai	
	11:15		2-1	ISR	15Trojano, Samuel	
	13:00	JPN	3-1		17Kuroda, Kenshiro	13Hakozaki, Sota
	14:58	JPN	4-1		17Kuroda, Kenshiro	21Kaigara, Uta
2	18:35		4-2	ISR	3Abramovich, Ronen	
3	35:58	JPN	5-2		11Ishikawa, Ryuta	10Fujioka, Rinta
	40:38	JPN	6-2		13Hakozaki, Sota	18Tanemura, Kai
	43:56	JPN	7-2		13Hakozaki, Sota	18Tanemura, Kai
4	49:26	JPN	8-2		21Kaigara, Uta	
	53:45	JPN	9-2		6Yokokawa, Rikuto	
	57:44	JPN	10-2		8Sodeyama, Tomoya	
	59:02		10-3	ISR	18Kraft, Joey	



# Bプール戦振り返り ②チェコ

8月13日 Bプール 第2戦

Czech Republic - Japan 2:12 (1:5, 0:2, 1:1, 0:4)

Q	Time	HOME	Score	AWAY	Goal	Assist
1	3:08		0:01	JPN	13Hakozaki, Sota	
	6:05		0:02	JPN	13Hakozaki, Sota	
	7:47		0:03	JPN	21Kaigara, Uta	11Ishikawa, Ryuta
	10:00	CZE	1:03		5Kučera, Lukáš	33Adamiec, Kryštof
	14:27		1:04	JPN	21Kaigara, Uta	13Hakozaki, Sota
	14:59		1:05	JPN	21Kaigara, Uta	
2	19:34		1:06	JPN	18Tanemura, Kai	
	29:34		1:07	JPN	3Otsuka, Shuhei	
3	40:26	CZE	2:07		72Huleš, Jan	
	41:27		2:08	JPN	22Chikakane, Taisei	12Yamamoto, Rei
4	47:38		2:09	JPN	28Ono, Hiroki	
	49:14		2:10	JPN	10Fujioka, Rinta	
	53:06		2:11	JPN	11Ishikawa, Ryuta	
	57:55		2:12	JPN	13Hakozaki, Sota	17Kuroda, Kenshiro



# Bプール戦振り返り ③プエルトリコ

8月15日 Bプール 第3戦

Japan - Puerto Rico 10:9 (3:2, 2:2, 3:2, 2:3)

Q	Time	HOME	Score	AWAY	Goal	Assist
1	07:09	JPN	1:00		7Yamada, Tetsuya	
	08:30		1:01	PRI	5Vernon, Marcel	
	09:36		1:02	PRI	25Baez, Colin	
	14:07	JPN	2:02		13Hakozaki, Sota	
	14:59	JPN	3:02		21Kaigara, Uta	
2	17:56	JPN	4:02		3Otsuka, Shuhei	18Tanemura, Kai
	21:19		4:03	PRI	1Balcarcel, Joshua	
	23:47	JPN	5:03		28Ono, Hiroki	13Hakozaki, Sota
	25:55		5:04	PRI	43Aviles, Brandon	
3	32:53	JPN	6:04		10Fujioka, Rinta	4Tatematsu, Yugo
	37:05	JPN	7:04		12Yamamoto, Rei	
	38:06	JPN	8:04		18Tanemura, Kai	7Yamada, Tetsuya
	39:40		8:05	PRI	17Laureano, Christian	94Mercado, William
	41:43		8:06	PRI	43Aviles, Brandon	23Laureano, Sean
4	46:06		8:07	PRI	1Balcarcel, Joshua	
	51:20	JPN	9:07		17Kuroda, Kenshiro	21Kaigara, Uta
	54:16	JPN	10:07		21Kaigara, Uta	
	58:15		10:08	PRI	23Laureano, Sean	
	58:51		10:09	PRI	1Balcarcel, Joshua	



# 各プール戦結果

- A**
1. United States
  2. Canada
  3. Australia
  4. Haudenosaunee
  5. England

- B**
1. Japan
  2. Puerto Rico
  3. Israel
  4. Czech Republic

- C**
1. Ireland
  2. Germany
  3. Jamaica
  4. Latvia



# 決勝トーナメント振り返り

## ④ジャマイカ

8月16日 C-3位戦

Japan - Jamaica 10:8 (2:2, 1:4, 3:1, 4:1)

Time	Score	Team	Goal	Assist
01:25	1:0	JPN	13 Hakozaki, Sota	
06:21	1:1	JAM	23 Bowen, Dante	4 Lane, Kylan
08:17	1:2	JAM	4 Lane, Kylan	
14:14	2:2	JPN	18 Tanemura, Kai	17 Kuroda, Kenshiro
16:25	2:3	JAM	11 Sims, Tanner	3 Evans, Stone
19:25	2:4	JAM	77 Sears, Khairi	11 Sims, Tanner
22:12	2:5	JAM	77 Sears, Khairi	
23:06	3:5	JPN	27 Takeda, Yusuke	
29:12	3:6	JAM	77 Sears, Khairi	3 Evans, Stone
32:23	3:7	JAM	1 McLaughlin, Joshua	4 Lane, Kylan
34:45	4:7	JPN	13 Hakozaki, Sota	
36:27	5:7	JPN	28 Ono, Hiroki	11 Ishikawa, Ryuta
38:30	6:7	JPN	13 Hakozaki, Sota	
46:16	6:8	JAM	77 Sears, Khairi	11 Sims, Tanner
50:01	7:8	JPN	7 Yamada, Tetsuya	
52:22	8:8	JPN	17 Kuroda, Kenshiro	
55:32	9:8	JPN	18 Tanemura, Kai	
57:02	10:8	JPN	17 Kuroda, Kenshiro	





# 決勝トーナメント振り返り

## ⑤オーストラリア

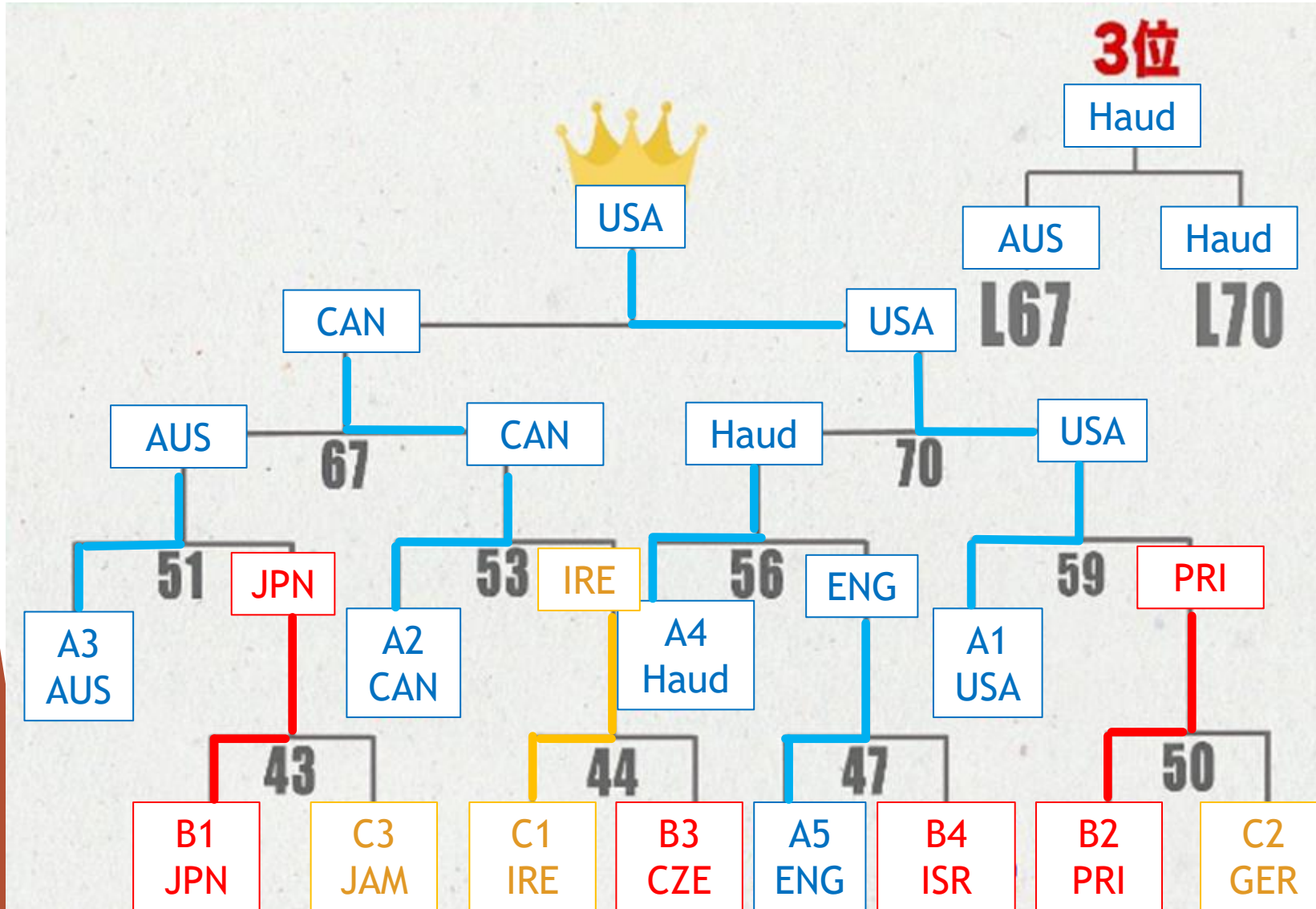
8月17日 準々決勝

Australia - Japan 8:6 (1:2, 1:1, 2:3, 4:0)

Time	Score	Team	Goal	Assist
05:37	1:0	AUS	24 Buchanan, Ethan	7 Pyke, Edison
07:41	1:1	JPN	3 Otsuka, Shuhei	13 Hakozaiki, Sota
12:29	1:2	JPN	11 Ishikawa, Ryuta	
15:58	1:3	JPN	18 Tanemura, Kai	11 Ishikawa, Ryuta
29:49	2:3	AUS	44 Moir, Ethan	12 Baker, Mitchell
31:35	3:3	AUS	8 Gibson, Harry	9 Lim, Arlen
34:24	3:4	JPN	7 Yamada, Tetsuya	
37:40	4:4	AUS	12 Baker, Mitchell	44 Moir, Ethan
39:32	4:5	JPN	7 Yamada, Tetsuya	
43:18	4:6	JPN	21 Kaigara, Uta	
47:48	5:6	AUS	8 Gibson, Harry	1 McDonough, Connor
50:37	6:6	AUS	1 McDonough, Connor	
52:15	7:6	AUS	12 Baker, Mitchell	
54:01	8:6	AUS	1 McDonough, Connor	12 Baker, Mitchell



# 決勝トーナメント結果



日本は準々決勝で  
オーストラリアに敗退  
5 - 1 2位を決める  
順位決定トーナメントへ

# 順位決定戦振り返り ⑥イスラエル

8月18日 順位決定トーナメント 1試合目  
 Japan - Israel 8:5 (2:1, 1:3, 3:0, 2:1)

Time	Score	Team	Goal	Assist
06:26	1:0	JPN	18 Tanemura, Kai	10 Fujioka, Rinta
10:23	2:0	JPN	11 Ishikawa, Ryuta	10 Fujioka, Rinta
13:07	2:1	ISR	18 Kraft, Joey	
16:43	3:1	JPN	10 Fujioka, Rinta	15 Komine, Takuma
21:23	3:2	ISR	35 Bar David, Ido	26 Mittler, Ron
25:43	3:3	ISR	35 Bar David, Ido	18 Kraft, Joey
27:33	3:4	ISR	3 Abramovich, Ronen	18 Kraft, Joey
36:43	4:4	JPN	6 Yokokawa, Rikuto	12 Yamamoto, Rei
39:40	5:4	JPN	13 Hakozaiki, Sota	18 Tanemura, Kai
44:58	6:4	JPN	3 Otsuka, Shuhei	
47:47	7:4	JPN	3 Otsuka, Shuhei	7 Yamada, Tetsuya
53:17	8:4	JPN	21 Kaigara, Uta	17 Kuroda, Kenshiro
55:42	8:5	ISR	35 Bar David, Ido	



# 順位決定戦振り返り ⑦ アイルランド

8月19日 順位決定トーナメント 2試合目  
Ireland - Japan 4:5 (1:0, 0:3, 1:1, 2:1)

Time	Score	Team	Goal	Assist
09:32	1:0	IRL	26 Somerville, Kevin	20 Horkan, Liam
18:43	1:1	JPN	11 Ishikawa, Ryuta	
24:45	1:2	JPN	28 Ono, Hiroki	
29:20	1:3	JPN	21 Kaigara, Uta	13 Hakozaiki, Sota
35:45	2:3	IRL	20 Horkan, Liam	
42:49	2:4	JPN	13 Hakozaiki, Sota	21 Kaigara, Uta
46:16	2:5	JPN	11 Ishikawa, Ryuta	7 Yamada, Tetsuya
54:21	3:5	IRL	10 Doherty, John	
55:05	4:5	IRL	18 Foley, Conor	



# 順位決定戦振り返り ⑧ イングランド

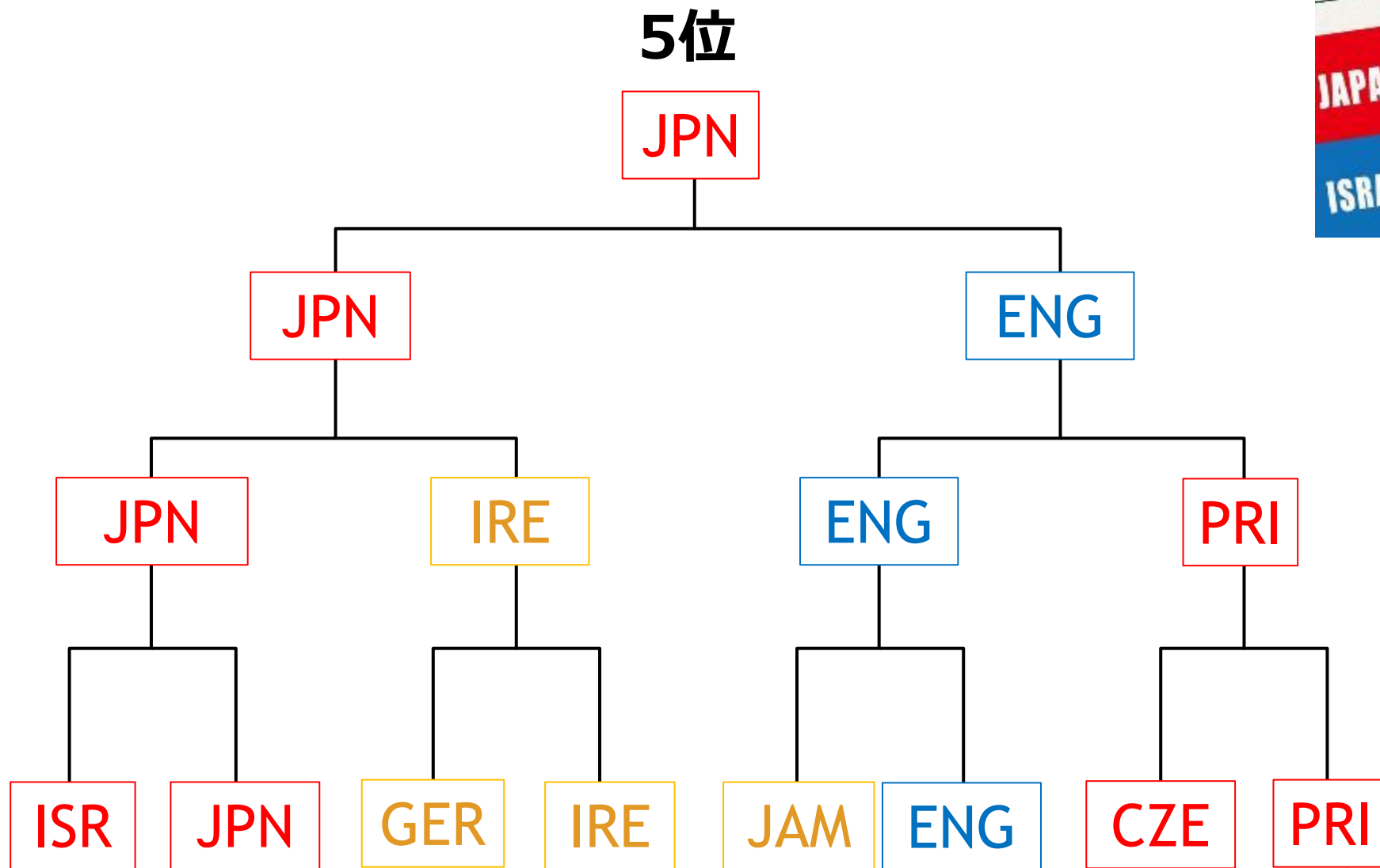
8月20日 5位決定戦

England - Japan 6:7 (2:2, 1:1, 0:2, 3:1, 0:1)

Time	Score	Team	Goal	Assist
02:11	0:1	JPN	13 Hakozaki, Sota	
05:08	1:1	ENG	12 Simpson-Pink, Joshua	
12:15	1:2	JPN	13 Hakozaki, Sota	18 Tanemura, Kai
14:58	2:2	ENG	3 Goodwin, William	
20:20	2:3	JPN	28 Ono, Hiroki	
29:57	3:3	ENG	4 Wilkinson, Nathan	12 Simpson-Pink, Joshua
33:56	3:4	JPN	21 Kaigara, Uta	13 Hakozaki, Sota
41:56	3:5	JPN	7 Yamada, Tetsuya	
46:55	3:6	JPN	8 Sodeyama, Tomoya	
55:32	4:6	ENG	9 Hilditch, Daniel	
58:24	5:6	ENG	9 Hilditch, Daniel	10 Loveland, Edward
59:16	6:6	ENG	7 Peel, Hugo	
65:53	6:7	JPN	10 Fujioka, Rinta	21 Kaigara, Uta



# 順位決定トーナメント結果



# 戦いを終えて...

## 4. 世界大会を通じて

キャプテンズの4人から、  
それぞれが、世界大会で感じたこと



# 戦いを終えて...

## 5. 総括

最後に鈴木ヘッドコーチから  
活動を総括して...





# 質問コーナー

## 6. 質疑応答

YouTubeのコメント欄の  
ご質問に回答します!



ご視聴ありがとうございました！！

